

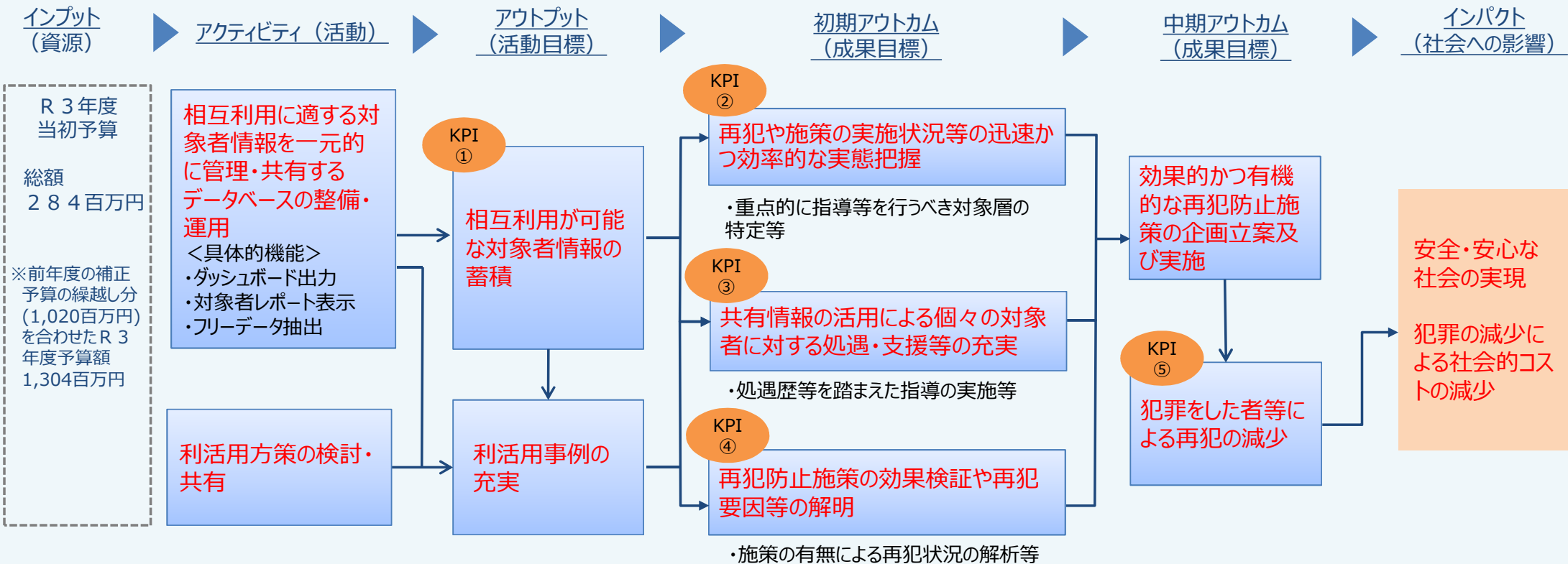
刑事情報連携データベースの運営

課題と背景

国民が安全で安心して暮らせる社会の実現に向け、再犯防止に向けた取組の推進が必要

⇒ PDCAやEBPMの観点からも、再犯の実態把握や施策の効果検証等を適切に実施できるシステムが不可欠

検察庁，矯正施設，更生保護官署が保有する対象者情報のうち相互利用に適する情報を一元的に管理・共有するデータベースを運用し，再犯や処遇等の情報を利活用することにより，効果的かつ有機的な再犯防止施策の推進を図る。



測定指標

KPI ① 刑事情報連携データベースにより情報の相互利用が可能となった対象者の数

KPI ② ダッシュボード出力（再入率等の主要な指標等の集計結果をグラフなどで把握する）機能の利用実績

KPI ③ 対象者レポート表示（特定のケースについて他の機関が実施した処遇等の詳細情報を参照する）機能の利用実績

KPI ④ フリーデータ抽出（蓄積された情報の中からユーザーが統計分析等に必要な情報を選択的に抽出・加工できる）機能の利用実績

KPI ⑤ 刑務所出所者等の 2 年以内再入率・再入所者数